

# 中学 3 年 道 徳 授 業 案

日 時 平成 27 年 10 月 23 日 (木) 5 校時  
生 徒 3 年 C 組 男子 13 名 女子 21 名 計 34 名  
授 業 場 3 年 C 組 教 室  
授 業 者 3 年 C 組 赤 本 純 基

1 主 題 名 『 生 命 の 尊 さ 』 内 容 項 目 3- (1) 生 命 の 尊 さ (D-19 生 命 の 尊 さ)

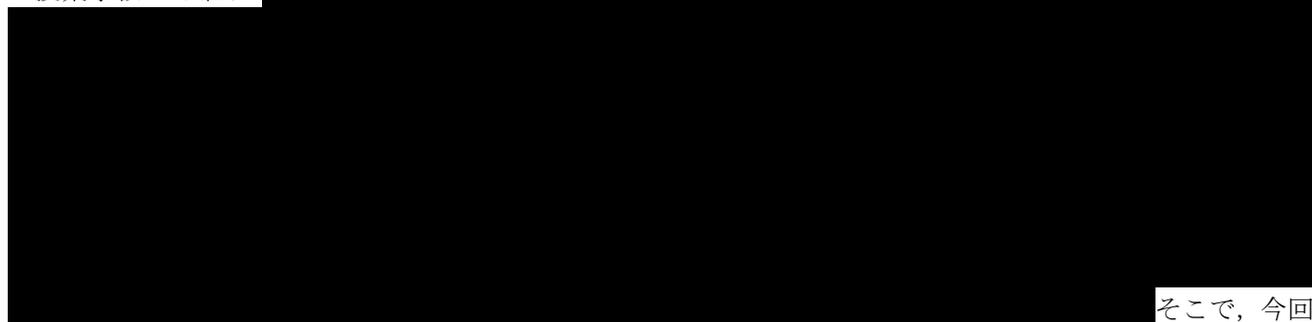
2 資 料 名 『 揺 れ る い の ち 』 出 典 : 「 揺 れ る い の ち 」 旬 報 社

## 3 主 題 設 定 の 理 由

### (1) ねらいとする価値

近年、生徒の生活様式は変化し、情報機器の発達やそれともなう自然や人間との関わり希薄さから、生命について深く考える機会を失いつつある。中学生の時期になると、思春期ということもありコミュニケーション力や自己肯定感の低下が著しい。そうした実態から、生命と真正面から向き合おうとしない(できない)生徒や、生命の大切さやかけがえのなさについて、頭ではわかっているがそれを行動に移すことができない生徒が多いのが現状ではないだろうか。

授業学級の C 組は



そこで、今回の授業では客観的に生命と向き合う態度から、自分事として生命の尊さを考えるようにしていき、生命の尊さについてより深く考えさせることを大切にしたい。

義務教育最終学年で、来年度 16 歳となり結婚することが認められる年齢となる生徒(現実的にはほとんどいないのは承知の上で)に『赤ちゃんポストが要らない社会』とはどんななのかを考えさせることは、意義深いと考える。この授業を通して、生命の尊さを守るためには、どんな社会でなければならないのか、さらには、そうした社会を実現するためには、性についての正しい知識を学ぶことや異性についての確かな理解、身近で困っていたり苦しんだりしている人を放っておかずに関わっていこうとする態度が必要であることに気付かせたい。

### (2) 資料について

今回の授業で扱う「赤ちゃんポスト」は、育児に行き詰った親による虐待や育児放棄を防いだり、望まれない子どもの殺害や中絶を防いだりするために、様々な事情で育てられない赤ちゃんを親が匿名で預けることができる窓口のことである。日本では 2007 年に熊本県慈恵病院に「こうのとりのゆりかご」設置された。赤ちゃんポストについては、子どもの命を救えるなどと支持する声がある一方で、捨て子を助長するなどの反対意見もある。「赤ちゃんポスト」についての是非を考えることを通して、生命についてどのように考え、向き合っていかなければならないのかを考える機会としたい。

4 本時案

(1) 本時のねらい

「赤ちゃんポスト」の現状について知ることを通して、自分自身が生命とどのように向き合い、その尊さを守るためにどのような行動をとるべきかを考えることができる。

(2) 本時の展開 \_\_\_\_\_中心発問 ○発問 △補助発問 [ ] 予想される生徒の反応

主な学習活動	教師の関わり	指導展開上の留意点
<p>1. 事前アンケートの結果を聞く。</p> <p>2. 赤ちゃんポストが必要であるかどうかを考える。</p>	<p>・事前アンケートの「生命の話をした内容」「生命の尊さを感じた経験」の項目の結果を伝える。</p> <p>・赤ちゃんポストの現状について伝える。</p> <p>○「あなたは、赤ちゃんポストの設置について賛成か、反対か？」</p>	<p>・アンケート結果掲示</p> <p>・写真を提示しながら説明する。</p> <p>・板書</p> <p>・心情円グラフで自分の立場を表明させる。</p> <p>・少数派の生徒の考えから取り上げて、賛成派、反対派の考えについて、子どもや親、設置者や世論の立場だったらどんな心情なのか問い返しを行い、議論を深めさせる。</p>
<p>賛成派</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やむを得ない事情があるかも知れない。</li> <li>・実際に赤ちゃんを遺棄してしまうような事件やネグレクトがあるのは事実だから、生命を守るため。</li> </ul> <p>反対派</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・預けられた子どもがかわいそう。</li> <li>・ポストがあることで、安易に育児放棄してしまう親も出てくる。</li> <li>・親にもっと責任感があれば、設置する必要はない。</li> </ul>	<p>など</p> <p>など</p>	
<p>3. 議論を通して深めた考えを基に、「赤ちゃんポストの要らない社会」とはどのような社会なのか考える。</p>	<p>・赤ちゃんポストの関係者は「赤ちゃんポストの要らない社会」になることを願っていることを伝える。</p> <p>○『<u>赤ちゃんポストの要らない社会</u>』と<u>はどんな社会なのだろうか？</u>』</p>	<p>・板書</p> <p>・ワークシートに自分の考えを記入させる。</p> <p>・「なぜ」「どうして」そう思ったのか問い返しを行い、それぞれの考えの理由を引き出す。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・困ったり、苦しんだりしたときに身近の人に気軽に相談できる社会。</li> <li>・一人ひとりが、自分の赤ちゃん（もしくは、自分の飼っているペットなど）の尊い生命を守り育てていく自覚と責任をもてる社会。</li> <li>・性についての確かな知識をみんながもつ社会。</li> </ul>	<p>など</p>	<p>・「なぜ」「どうして」そう思ったのか問い返しを行い、それぞれの考えの理由を引き出す。</p>
<p>4. 赤ちゃんポストの要らない社会の実現に向けて、今自分自身がどんなことを大切にしていきたいかを考える。</p>	<p>○「そうした社会の実現のために、自分自身が今大切にしなければならないことは何だろうか？」</p>	<p>・板書</p> <p>・ワークシートに自分の考えを記入させる。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・困っている人や身近な人を大切にするようにしていくこと。</li> <li>・自分が接している人に優しくするなど、関わりのある人を大切にしていくこと。</li> <li>・異性についての理解や性についての正しい知識を学ぶこと。</li> </ul>	<p>など</p>	<p>・ワークシートに自分の考えを記入させる。</p>
<p>5. 教師の説話を聞くことで、自分自身がこれから生命とどのように向き合い、その尊さを守るためにどのような行動をとるべきかを考える。</p>	<p>・説話をする。</p>	<p>・アンケートの結果を振り返りながら、生命の尊さを守るためにどのような行動をとるべきかを考えさせる。</p>
<p>6. 本時の感想をワークシートに記入する。</p>	<p>○「授業を通して、心に思ったことや感じたことは何だろうか？」</p>	<p>・ワークシートに感想を記入させる。</p>